

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

水稻海外飛来性害虫の飛来状況（技術情報第 7 号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

【飛来および発生状況】

1 セジロウンカ

- (1) 予察灯における 6 月～7 月 2 半旬までの累積誘殺数は、生産環境研究所（合志市）が 250 頭（平成 2, 264 頭）、天草農業研究所（天草市）が 112 頭（平成 1, 196 頭）で、平成より少なかった（表 2）。
- (2) 生産環境研究所（合志市）の無防除田における 7 月 13 日の払い落とし調査では、株当たり成幼虫数が 0.4 頭（平成 2.4 頭）で、平成に比べ少なかった。

2 トビイロウンカ

- (1) 7 月 12 日現在、生産環境研究所（合志市）と天草農業研究所（天草市）に設置してある各種トラップへの誘殺は無かった（表 1）。梅雨期間にトビイロウンカの誘殺が確認されなかったのは、昭和 22 年以降で初めてである（表 3）。
- (3) 隣接する宮崎県では 7 月 7 日に 1 頭、鹿児島県では 7 月 5 日に 1 頭が予察灯で誘殺が確認された。

3 コブノメイガ

- (1) フェロモントラップ調査では、生産環境研究所（合志市）で 6 月 11 日に初飛来を確認した後は誘殺を認めておらず、天草農業研究所（天草市）では、6 月 11 日に初飛来を確認後、6 月 18～20 日に 1 頭、7 月 9～13 日に 5 頭が誘殺された（表 1）。
- (2) 7 月 13 日に実施した普通期水稻 48 ほ場における調査では、発生を認めず平成に比べ少なかった（平成の被害株率 15.7%）（表 4）。

【防除について】

本年の海外飛来性害虫の飛来量は少ない。しかし、ほ場での発生量は、地域や品種、箱施薬剤の種類により異なるので、防除適期前に発生状況を確認し、防除要否を判断する。

- 1 飼料用や米粉用の水稻にセジロウンカが増殖しやすい品種があるので、ほ場での発生状況に注意する。
- 2 隣県におけるトビイロウンカの誘殺状況と、本県におけるセジロウンカの飛来状況から、予想されるトビイロウンカの防除適期を表 5 に示した。防除適期前の 7 月下旬～8 月上旬の発生状況を確認し、要防除密度（成幼虫 20 頭/100 株）を超える場合は防除を行う。
- 3 コブノメイガの初飛来から予想される今後の発生パターンは図 1 のとおりである。水田を観察し、要防除水準（第 1 世代幼虫による被害株率が 20%以上）を超える場合、粒剤は発蛾最盛期、粉剤・液剤は発蛾最盛期 1 週間後に処理する。

※ 今後の発生況については病害虫防除所 HP（<http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto/>）に掲載。

(表1)

平成23年度 ネットトラップ・予察灯における水稻海外飛来性害虫の誘殺状況

※ 数日間まとめて調査した場合は、調査期間の最初の日にデータを記入した

調査日	予察灯(60W 白熱灯)				ネットトラップ				フェロモントラップ	
	天草市		合志市		天草市		合志市		天草市	合志市
	セジロウンカ	トビロウンカ	セジロウンカ	トビロウンカ	セジロウンカ	トビロウンカ	セジロウンカ	トビロウンカ	コブノメイガ	
6/1	0	0	0	0	0	0	0	0		-
6/2	0	0	0	0					0	-
6/3	0	0	0	0	0	0	0	0		-
6/4	0	0	0	0					0	-
6/5	0	0	0	0						-
6/6	0	0	0	0	0	0	0	0		-
6/7	2	0	1	0					0	-
6/8	1	0	0	0	0	0	0	0		-
6/9	0	0	0	0					0	0
6/10	0	0	0	0	0	0	0	0		
6/11	12	0	0	0					7	1
6/12	2	0	7	0						
6/13	5	0	2	0	0	0	1	0		
6/14	1	0	3	0			0	0	0	
6/15	1	0	1	0	0	0	6	0		0
6/16	0	0	0	0					0	0
6/17	16	0	3	0	1	0	0	0		
6/18	9	0	25	0					1	0
6/19	10	0	5	0						
6/20	1	0	10	0	0	0	0	0		
6/21	4	0	3	0			0	0	0	0
6/22	1	0	2	0	0	0				0
6/23	0	0	0	0			0	0	0	0
6/24	0	0	0	0	0	0	0	0		
6/25	0	0	0	0					0	0
6/26	1	0	0	0						
6/27	1	0	8	0	0	0	0	0		
6/28	3	0	-	-			0	0	0	0
6/29	0	0	-	-	0	0	0	0		0
6/30	0	0	1	0			0	0		0
7/1	0	0	0	0	0	0	9	0		0
7/2	0	0	0	0					0	0
7/3	0	0	0	0						
7/4	2	0	36	0	0	0	10	0		
7/5	3	0	20	0			7	0	0	0
7/6	4	0	16	0	1	0				0
7/7	14	0	89	0			3	0		
7/8	9	0	9	0	0	0	1	0		0
7/9	10	0	8	0					3	0
7/10	0	0	1	0						
7/11			0	0			0	0		
7/12			0	0			1	0	2	0
7/13										0
7/14										0

(表2)

予察灯におけるセジロウンカの半旬ごとの誘殺数

生産環境研究所(合志市)

(頭)

半旬/年	H18	H19	H20	H21	H22	平年値 (H13~H22)	H23
6.1	0	0	0	0	0	0.3	0
2	0	0	1	0	1	5.9	1
3	3	3	1	0	0	3.3	13
4	1	26	3	0	45	11.0	43
5	11	37	10	13	117	27.8	5
6	371	118	6	7	64	103.5	9
7.1	13978	413	85	52	33	1540.5	56
2	3128	211	12	43	56	571.4	123
3	21	112	2	54	1175	578.6	
4	0	126	7	12	567	150.6	
5	8223	1731	25	721	67	1105.9	
6	182	54	29	430	82	174.4	
7月2半旬 までの合計	17492	808	118	115	316	2263.7	250

天草農業研究所(天草市)

(頭)

半旬/年	H18	H19	H20	H21	H22	平年値 (H13~H22)	H23
6.1	0	5	0	0	0	31.8	0
2	3	0	31	0	0	35.3	3
3	7	9	11	0	0	16.4	21
4	15	27	23	0	489	62.9	36
5	57	104	299	21	170	76.1	5
6	191	68	21	29	102	84.2	5
7.1	3469	96	121	131	1357	644.9	5
2	1433	100	10	20	40	244.8	37
3	38	61	0	7	314	54.3	
4	46	50	3	4	45	35.9	
5	2065	55	3	36	5	220.6	
6	39	3	0	197	108	52.1	
7月2半旬 までの合計	5175	409	516	201	2158	1196.4	112

(表 3)

予察灯におけるトビイロウンカの半旬ごとの誘殺数

生産環境研究所(合志市)

(頭)

半旬/年	H18	H19	H20	H21	H22	平年値 (H13~H22)	H23
6.1	1	0	0	0	0	0.1	0
2	0	0	0	0	0	0.0	0
3	2	0	0	0	0	0.2	0
4	1	0	0	0	3	0.6	0
5	1	5	1	4	3	1.8	0
6	12	6	0	0	1	3.5	0
7.1	147	96	3	28	0	28.4	0
2	30	42	1	2	0	9.7	0
3	0	14	0	2	57	46.0	
4	0	19	3	1	29	9.6	
5	11	5	2	75	5	14.3	
6	0	7	1	22	6	5.8	
7月2半旬 までの合計	194	149	5	34	7	44.3	0

(表 4)

普通期水稻におけるコブノメイガ発生状況調査結果

年 度	発生ほ場率	被害度	被害株率
H14	23.1%	0.4	1.1%
H15	71.4%	15.5	24.2%
H16	44.4%	1.1	3.3%
H17	20.0%	0.8	1.8%
H18	70.0%	5.1	11.0%
H19	86.8%	31.0	86.8%
H20	49.4%	1.5	2.9%
H21	69.4%	4.1	8.2%
H22	39.6%	0.8	2.1%
H23	0.0%	0.0	0.0%
平年値	52.7%	6.7	15.7%

(H14~22)

(表 5)

予想されるトビイロウンカの防除適期 (7月5日飛来)

地点	防除適期 ^{注)} (第2世代幼虫ふ化揃い期)
三角	8月19~25日
岱明	8月19~25日
鹿北	8月24~30日
菊池	8月21~27日
阿蘇乙姫	9月2~8日
甲佐	8月21~27日
八代	8月19~25日
水俣	8月21~27日
人吉	8月23~29日
本渡	8月21~27日

注) ・7月5日の飛来を起点として、各地点のアメダスデータ平均気温(7月13日までは今年のデータ、7月14日以降は平年値)を基に、有効積算で今後の生育ステージを予測した。

・有効積算は下記の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

